

CDPプラスチック情報開示

CDPプラスチックモジュール導入の背景



- 使い捨てプラスチック生産が今のペースで増え続けると、2050年までに温室効果ガス排出量の5-10%を占めることになる（Minderoo, 2021年）。
- UNEP（国連環境計画）によると、現在海には少なくとも7,500万トン-2億トンのプラスチックごみがあり、さらに年間1,100万トンが海に流れ込み、海洋生物に影響を与え、生息地を破壊している。

CDPプラスチックモジュール導入の背景



- 政府が、予想される廃棄量やリサイクル可能率（※）で廃棄物管理コストを負担するよう要求した場合、企業は年間 1,000 億米ドルの財務リスクに直面する。



- プラスチックが環境や社会に与える影響や、プラスチック汚染に関連する商業的、法的リスク等に企業がどれだけさらされているかについて、理解を深める必要がある。

（※新製品がつくられたとき、将来その製品が使用済になったときに達成可能であると判断されるリサイクル率）



CDPプラスチックモジュール導入の背景

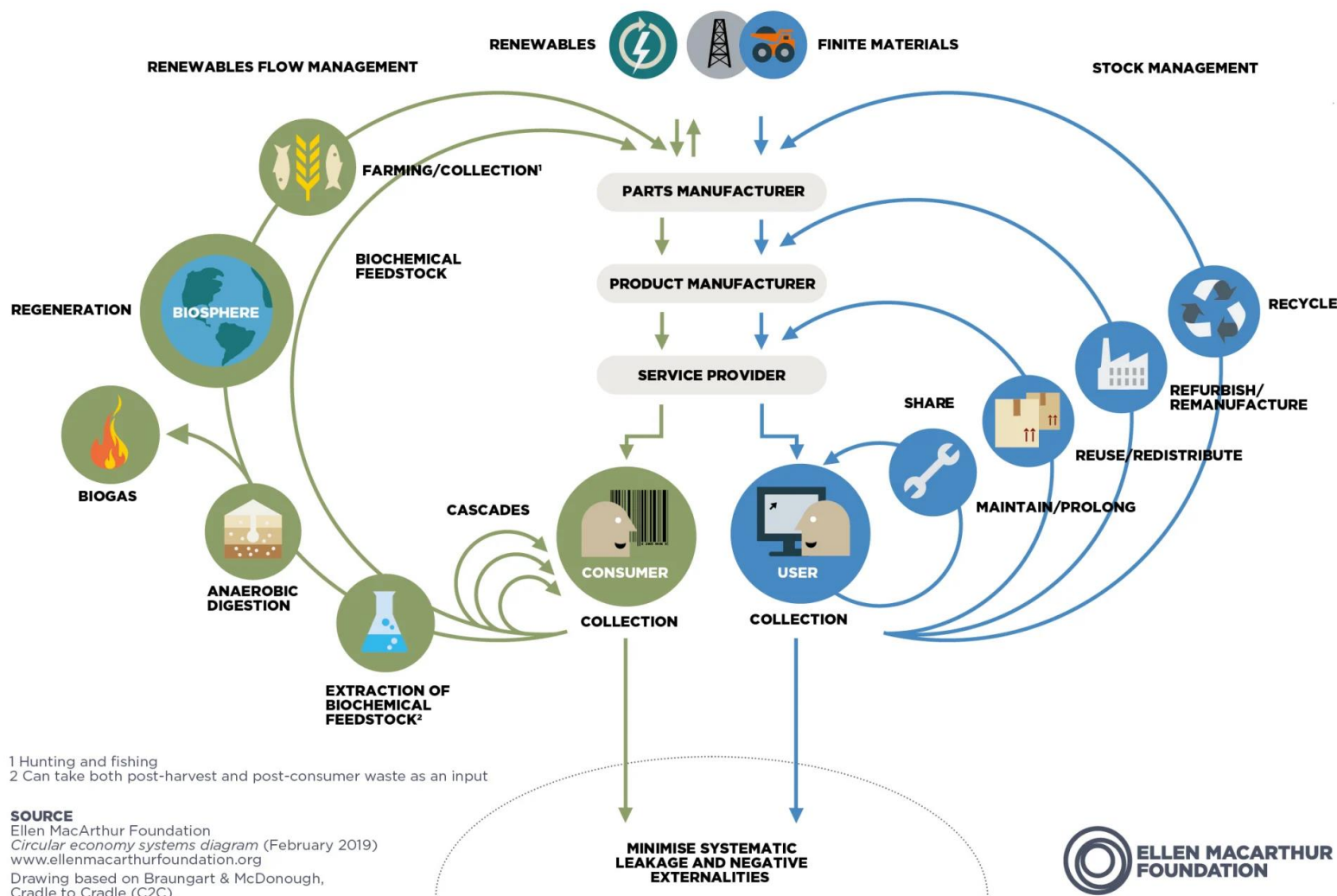


2022 年に CDP が実施したコンサルテーションへの回答によると

- 88%の企業が、プラスチックは自社に関連する問題であると回答
- 33%の企業は、プラスチック関連の目標設定していない
- 回答した CDP キャピタルマーケットとサプライチェーンのメンバーの81%が、CDP が要請するプラスチックに関する情報は、財務や調達の意思決定に有用であると回答（※）

(※2022 年 5 月-7 月に CDP が実施したコンサルテーションの調査結果に基づいています。企業、金融機関、CDP サプライチェーンメンバー、およびその他のステークホルダーから合計 127 の回答が提出されました。)

サーキュラー・エコノミーの実現



3つの基本原則

- 廃棄物/汚染等を出さない設計
- 製品や素材を使い続ける
- 自然のシステムを再生する

1 Hunting and fishing
2 Can take both post-harvest and post-consumer waste as an input

SOURCE
Ellen MacArthur Foundation
Circular economy systems diagram (February 2019)
www.ellenmacarthurfoundation.org
Drawing based on Braungart & McDonough,
Cradle to Cradle (C2C)

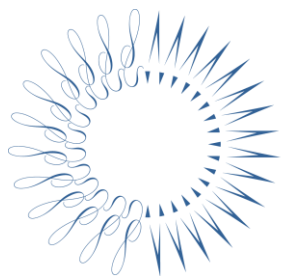
CDPプラスチック ビジョン



プラスチック廃棄物やプラスチック汚染をなくすために必要な透明性、行動、説明責任を、情報開示によって実現する。

パートナー

資金提供：ピュー・チャリタブル・トラスト（米NGO）
ミンデルー財団（豪）
協力：エレン・マッカーサー財団（英）



THE
PEW
CHARITABLE TRUSTS



CDPプラスチックモジュール <W10: Plastics>



2023年モジュール

W0 イントロダクション

W1 現状

W2 ビジネスへの影響

W3 手順

W4 リスクと機会

W5 施設レベルでの水の検証

W6 ガバナンス

W7 事業戦略

W8 目標

W9 検証

W10 プラスチック

W11 サインオフ

SW サプライチェーン

- 水セキュリティ質問書（完全版）内の1つの「モジュール」
- バリューチェーンのマッピング、影響、ビジネスリスク、目標、使用・生産・商品化されるプラスチック製品の原材料含有量の定量的な指標について質問します。
- 2023年度は採点対象ではありません。



CDPプラスチックモジュール <W10: Plastics>



2023年モジュール

W0 イントロダクション

W1 現状

W2 ビジネスへの影響

W3 手順

W4 リスクと機会

W5 施設レベルでの水の検証

W6 ガバナンス

W7 事業戦略

W8 目標

W9 検証

W10 プラスチック

W11 サインオフ

SW サプライチェーン

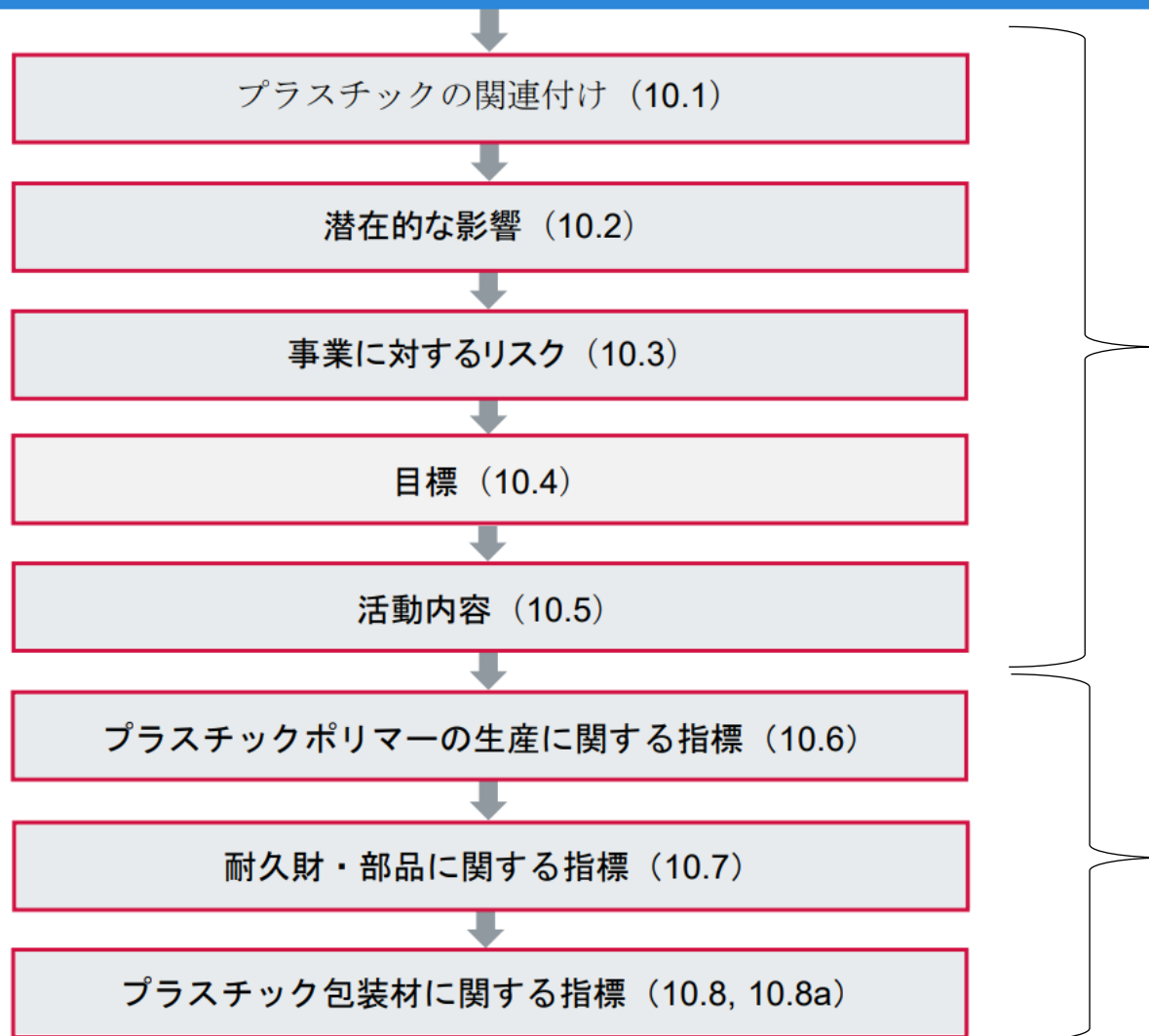
【水セキュリティ質問書にプラスチック質問が入る理由】

- 類似のハイインパクトセクター：水セキュリティ質問書で開示が求められている業種と、プラスチックを生産・使用する活動を伴う可能性が高いセクターの間に相関性
- 海洋・淡水生態系への影響：海洋・淡水生態系の健全性を回復するためにプラスチック削減は不可欠





W10 プラスチック (9問)



- 全部で9つの質問で構成
- 質問 (10.1) ~ 質問 (10.5) までの5つの質問はすべての企業に提示されます。
- 残り4つの質問は、特定のプラスチック関連活動 (※) を行っている企業に対して提示されます。

(※プラスチックポリマーの製造/プラスチック包装の製造、等)

様々なプラスチック関連リスクに対応することが可能



- 規制リスク：法律や規制の変更または不確実性によって引き起こされるリスク
例) 政府が導入した使い捨てビニール袋の使用禁止令
- 風評リスク：訴訟や消費者行動の変化によって引き起こされるリスク
例) 企業が引き起こしたプラスチック汚染がメディア等で否定的に取り上げられ、消費者が他のブランドに乗り換える
- 技術的リスク：技術的な改善や革新によって引き起こされるリスク
例) プラスチック削減技術の開発で劣勢になった場合の投資未回収や利益率低下
- 物理的リスク：直接的に事業に影響するリスク
例) 漁業関連企業がプラスチック汚染による漁業資源の枯渇問題に直面する

参考資料



[About us](#) [Our work](#) [Why disclose?](#) [Become a member](#) [Data and insights](#)

[More...](#)



[Sign in](#)

Key CDP technical materials



CDP technical note – Biofuels

Provides an overview of biofuels and their impacts to support disclosure.



CDP technical note – Implementing commitments on deforestation and ecosystem conversion

An overview of concepts related to deforestation free and natural ecosystem conversion free (DCF) supply chains.



CDP technical note – Plastics Disclosure

Technical FAQs and mapping against the Ellen MacArthur's Foundation's Global Commitment.



CDP technical note – Relevance of Scope 3 Categories by Sector

Signposts the categories of Scope 3 emissions that companies should be measuring and taking action to mitigate.



CDP technical note – Financial Services Sector

Guidance on the methodologies used to calculate portfolio impact metrics – for banks, asset owners, asset managers.



CDP technical note – TCFD

An introduction to the TCFD, why CDP has committed to aligning its platform, and how to disclose the TCFD's recommendations.

プラスチックの情報開示に関するテクニカルノート

CDP reporting guidance 2023



Climate change

Reporting guidance for companies disclosing to the 2023 climate change request.



Forests

Reporting guidance for companies disclosing to the 2023 forests request.



Water security

Reporting guidance for companies disclosing to the 2023 water security request.

CDP questionnaire changes 2022-2023



Climate change

A map of the relationship between questions in the 2022 climate change questionnaire and the 2023 climate change questionnaire.



Forests

A map of the relationship between questions in the 2022 forests questionnaire and the 2023 forests questionnaire.



Water security

A map of the relationship between questions in the 2022 water security questionnaire and the 2023 water security questionnaire.